

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会球磨支部

イチゴの環境モニタリング4期目スタート！！

球磨地域では、農業DXの取組みの一環として、イチゴ栽培において栽培環境のモニタリングと、そのデータの共有による管理技術の向上に取り組んでいます。4期目となる令和6年産では、管内12戸の生産者が環境モニタリングを実施しており、令和6年12月11日に各生産者のほ場において現地検討会を開催しました。

現地検討会では、各生産者の環境データに加え、収量増加のための炭酸ガス施用展示ほのCO₂データについて、当課から説明を行いました。その後の意見交換では、今年度初めて取り組む生産者から「高収量の生産者と自分の栽培管理の違いがデータで初めてわかった」、「同じ球磨管内でも、他地区のほ場を見る機会は少ないので勉強になった」など前向きな意見がありました。

今後は、各生産者の生育・収量と管理方法の関係を解析し、2月以降の現地検討会において、生産者や関係機関へ結果を共有する予定です。

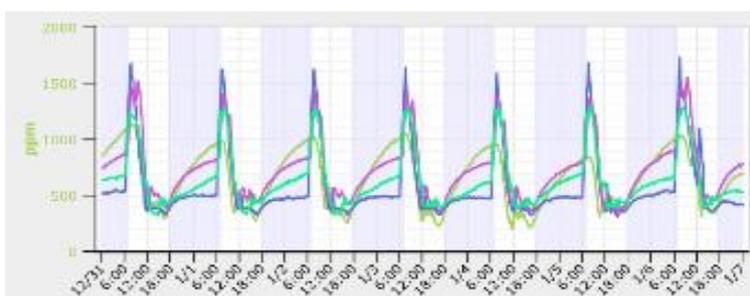
当課では引き続き、環境モニタリングを活用した管理技術の向上の取り組みをさらに拡大し、球磨地域のイチゴの収量増加、収益増大を図っていきます。



現地検討の様子



現地ほ場の様子



環境モニタリングのCO₂データ